

平成25年

第12回

女と男の一行詩

ひとひと



応募者数 487名
応募総数 1,044点

最優秀賞

「生徒会長女子なんだー！」
驚かれて 驚いた

私は両親に「人としてどうあるべきか」と注意されてきたので、社会で「女の子なの」「女のくせだ」といふ言われ方をすると驚き、それを表しました。

村松亜美さん（高校生）

優秀賞

出産は ブランクじゃない 自慢のキャリア

仕事をしているママにとって、出産・育児の経験は重要なスキルとなっています。社会全体がそのことを評価し、多くのママ達も社会で活躍してほしいと願っています。

東海林公美さん（一般）

優秀賞

男女の差 いたわりあって 埋める溝

女性の社会進出の環境が整いつつある現状ですが、まだ格差（溝）があるように感じます。それを埋めるのは、お互いの労わり合いではないでしょうか。

平泉尚登さん（一般）

入選

男女なんて関係ない

あなたの心と、あなたらしくね。

性別ではなく、大切なのは人としての温かい心と自分らしさだという事を伝えたくて、一行詩に込めました。差別のない世界になるように……。

木村保菜美さん（中学生）

入選

気が付けば いじものキッチン

かげ2つ

長岡円さん（高校生）

入選

歳老いて

やっとなれたよ 世帯主

私の一行詩が選ばれたという事はすでに世帯主になられた方、それとも密かに望みを感じている方が多かったのかな？と思うと、とても心強いです。

船水初子さん（一般）